

平成24年5月9日～11日 石川県かほく市・福井県永平寺町



また、本年から始めている「議員が走る」というコーナーは、行政サービスに対する市民の声を、議員が直接取材しているとのこと、市民からも親近感が増したと好評を得ています。

主な特色は、46項目に及ぶ申し合わせ事項に沿って作成されることや委員会にてデータ化までを行い、データを印刷業者にそのまま納入する方法（DTP※）によって行われていることです。

ほく市議会の広報特別委員会は、副議長と3常任委員会の副委員長、その他の議員から3名が選出され、計7名で構成されています。

か

ほく市議会の広報特別委員会は、副議長と3常任委員会の副委員長、その他の議員から3名が選出され、計7名で構成されています。

永

平寺町議会は、議員17名のうち希望者11名が広報編集特別委員会に所属しています。

作成にあたっての特色は、一般質問の原稿を各議員が直接印刷業者へ提出していることです。原稿がデータの場合は、民間が作るグループウェアに議員が入り、そのサービスの途中でデータを渡す方法を採用しています。

『議会だより』には、各議員の議案に対する賛否や、議員の出欠状況まで掲載しており、このことが各議員のさらなる意識高揚につながり、議論の活発化にもつながっているとのこと。

本委員会も引き続き、分かりやすく読みやすい議会だより『声のかけ橋』の紙面づくりに取り組んでいます。



REPORT 視察研修

今後のまちづくりや議会運営に生かします。

平成24年5月29日～31日 岩手県奥州市・紫波町



議会基本条例については、平成19年8月に検討部会を設置し、約2年間の協議、検討の末、平成21年9月議会で可決されています。

奥州市議会は、議員数33名で構成されており、議会の開会には毎回、金曜日と定めております。一般質問については、時間制限を設けていませんが、1日5人と定め、紳士協定により一人概ね1時間程度を目安に行っています。

また、一般の議案については、委員会への付託を行わず、本会議において審議しているとのことでもあります。

奥

奥州市議会は、議員数33名で構成されており、議会の開会には毎回、金曜日と定めております。

紫

波町議会は、議員数20名で構成されており、議会基本条例は制定しておりませんが、議会改革に積極的に取り組んでいる町議会です。

一般質問に対する反問権の許可や議会報告会の開催、一般質問のインターネット配信などを行っており、通年議会も採用しております。

議会の会期を1月から12月までの1年間とし、3月、6月、9月、12月に会議を開くとしており、1年を通して議会や委員会が主導的、機動的に開けることは、大きなメリットであり、今後、研究すべき一つのテーマでもあります。

終わりに、本市議会においても、地域の実情や市民の要望を的確に把握し、開かれた議会として議会改革を進めていくことを確認しました。

議会広報編集特別委員会

議会運営委員会

『財産の無償譲渡について』 旧長谷小学校を譲渡



平成22年3月をもって廃校となった旧長谷小学校校舎などの建物を、本年4月から学校跡施設利用事業者の公募を行い、民間活力の優れたノウハウの活用や雇用創出、地域との交流などの要件を総合的に勘案し、障害福祉サービス事業を行う法人を学校跡施設利用事業者として選任し、無償で譲渡するものです。

全会一致



議員の権限

議員発議

義務教育費国庫負担制度堅持・少人数学級の推進など
定数改善を求める意見書

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要であり、未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげるために、次のとおり国の関係機関に対し意見書の提出を行うものです。

- 1 子どもたちに、教育の機会均等と教育水準を保障するために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度について、国負担率を2分の1に還元することを含め、制度を堅持すること。
- 2 きめ細かい教育の実現のために、30人以下学級・複式学級解消を基本とした少人数学級を推進すること。

賛成多数



※ DTP = 直訳で「机上出版」。専用ソフトにより印刷工程直前までの編集作業を行い、データをそのまま業者に渡し出版すること。